

## Q. 交差点の改良について

### A. 県道から町道へ誘導するためのカラー舗装は困難



尾野 康雄 議員

**Q** 名古屋豊山稲沢線を社会教育センターから南進し、左折して旧道に入る豊場の交差点。新しい道路の開通に伴い、進入路が分かりづら

い。夜間や雨天時などは特に見にくい。

以前、近くにあった横断歩道がなくなり、北側と南側には大型の街路灯があり、進入路が見にくくなった。カラー舗装交差点にするなど工夫が欲しい。

また、この交差点を北

進してすぐに左折して役場方面へ行く場合、進入口から右にカーブして直線となる。進入口の道幅を広げたらどうか。

**A** 県道名古屋豊山稲沢線と町道55号

線57号線との交差点部の見通しが悪いことについては、県道の車道外側線を生活道路へ巻き込む形で処理されており、これが交差の目安となっている。したがって、当該県道から町道へ単に誘導のためのカラー舗装等は困難である。

県道名古屋豊山稲沢線と町道2号線（旧県道）の交差点の幅員を拡げることについては、道路構造令により交差する車道を横断する距離が短く、交差部分の面積を小さくすることにより、見通しが良くなり安全性の向上が図られる。この基準に基づき直角に交差しており、現在の形状が最も適当と考える。



進入路が分かりにくい交差点